

## 2026年1月18日（日）第二礼拝「ゆるがない永遠の価値」ヘブル12章26～29節

現在、戦争や経済の変動、急速なAIの発展によって失業者が増え、将来的に巨大な地震や津波が起こるとも言われる時代です。イエス様はご自身の再臨の前兆として、这样的なことが起こると言われました。それは、揺り動かされることのない価値が残るためです。

第一番目、天と地が揺り動かされます。環太平洋地域は地震帯で、その75%が火山です。地震が起こる確率は90%と言われています。特にアジアでは活発な地殻変動が続きます。

「…わたしは天と地とを揺り動かし、もうもろの王国の王座を…くつがえす。…わたしのしもべゼルバベルよ、わたしはあなたを選び取る。…」（ハガイ2:21～23）バビロン捕囚後、クロス王はユダヤの民を帰国させ、神殿を建てるように命じました。その時の総督がゼルバベルです。罪が赦される場所、神殿を作るため、天が揺り動かされたのです。また、腐敗選挙やインフレで苦しむベネズエラは、アメリカの介入で政権が倒れました。イランはこれまで宗教弾圧、干ばつ、インフレで厳しい状況下にありましたが、先日デモが起り、今も混乱状態が続いている。このように国々が揺り動かされる理由は、ゼルバベルのため、福音（イエス様）を立てるためです。ベネズエラはリバイバルが起こると預言されています。また、イランはクリスチヤンが急増しています。将来、スタン系の国々も福音化され、イスラエルへの道が開かれていくでしょう。それは永遠の価値、イエス・キリストが残るためです。

第二番目、永遠に揺り動かない価値です。全世界は揺れ動きますが、聖書に価値を置くなら揺り動かされることはありません。聖書は、3500年前から1500年かけて記録されました。世界が変わろうとも、御言葉は一点一画も変わることはありません。イエス様は私たちの罪の身代わりとなって十字架で死に、よみに下り、三日目に復活されました。私たちはそのことを信じて義と認められ、永遠のいのちをいただきました。そして、聖霊様が私たちの内に神の国を表してくださいます。神の国は飲み食いにあるのではなく、御霊による義、喜び、平安です。イエス様を信じる人には喜びと平安があり、神の国は私たちのただ中にあります。天国では、私たちの目の涙はぬぐい取られ、死も、叫びも、苦しみもありません。永遠に変わらない価値であるイエス様を信じるなら、天国を所有することができるのです。

第三番目、慎みと恐れです。イエス様を信じると義と認められ、キリストに似ていきます。主が私たちを憐れみ救ってくださったように、私たちも他の人のためにとりなし祈ることが大切です。日本には祝福と審判の預言があります。日本はその技術力で他国を助け、その恩恵、祝福を受けてきました。一方でその技術力は人を罪へ誘い込み、肉欲を助長することにも用いられています。士師のサムソンはナジル人として生まれ、神様の力を情欲のために使いました。彼は遊女デリラに力の秘密を明かしてしまい、捕虜となってしまいましたが、悔い改めた時、再び力が与えられ、ペリシテに審判が下されました。日本もこれまでの歩みを悔い改め、審判ではなく祝福だけを受け、リバイバルするように、また、変わらない価値である聖書に価値を置き、御国を受け継ぐように、私たちは慎みと恐れをもって祈りましょう。